

【各専攻における理念】

● 経済学研究科経済学専攻 (中学校教諭専修(社会)・高等学校教諭専修(地理歴史・公民))

経済学専攻では、経済現象を的確に分析し深く洞察し得る能力とともに、高い見識を具えた研究者の養成、また経済学関連分野の幅広い知識を修得しつつ、豊かな教養を身に付けた優れた高度職業人の養成を使命としている。

教職課程においては、このような人材育成理念の下で、徹底した少人数教育の利点を生かし、専門知識の修得に加えて、経済社会の歴史と現在にかかわる諸問題をみずから発見し探究する能力及びコミュニケーション能力の陶冶により、教育実践力を具えた社会系教員を育成することを目標としている。

【段階的目標とその計画】

<経済学専攻> (中学校教諭専修(社会))

履修年次		到達目標と計画
年次	時期	
1年次	前期	研究指導(演習)及び授業科目を履修することにより、今後、専修免許取得に向けて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、研究遂行能力と教育実践力を身に付けることによって、専修免許に相応しい専門性を獲得するという目標に対する真摯な自覚を深めることを目指す。
	後期	引き続き、研究指導及び授業科目を履修することにより、経済社会の歴史と現状に関する専門的・系統的理解を養成し、問題発見・問題解決能力を強化することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、また、教えることへの主体的意識を高めて、柔軟な発想力とコミュニケーション能力を伸ばすことを目標とする。
2年次	前期	2年次を迎え、研究指導において修士論文もしくは課題研究報告を作成していく中で、経済学の知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化して、研究遂行能力を高めるとともに、修士論文もしくは課題研究報告の課題を経済社会の歴史と現状に対する幅広い柔軟な視野の下で把握出来るように努め、専修免許に相応しい専門性を知識と実践力の両面で涵養することを目標とする。
	後期	引き続き、修士論文もしくは課題研究報告を作成していく中で、経済学の知見に基づいて経済社会の諸問題に対する分析力を強化し、研究遂行能力を具体的に発揮出来るようにするとともに、特に公開制の修士論文等中間報告会での発表・討論を通じて、柔軟な発想力とコミュニケーション能力を一層錬磨し、専修免許に相応しい専門的な研究・教育力を獲得することを目標とする。

<経済学専攻> (高等学校教諭専修(地理歴史))

履修年次		到達目標と計画
年次	時期	
1年次	前期	研究指導(演習)及び授業科目を履修することにより、今後、専修免許取得に向けて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、研究遂行能力と教育実践力を身に付けることによって、地理歴史分野の専修免許に相応しい専門性を獲得するという目標に対する真摯な自覚を深めることを目指す。
	後期	引き続き、研究指導及び授業科目を履修することにより、経済社会の歴史的発展と空間的多様性に関する専門的・系統的理解を養成し、問題発見・問題解決能力を強化することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、また、教えることへの主体的意識を高めて、柔軟な発想力とコミュニケーション能力を伸ばすことを目標とする。
2年次	前期	2年次を迎え、研究指導において修士論文もしくは課題研究報告を作成していく中で、経済社会の歴史的・地理学的知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化して、研究遂行能力を高めるとともに、修士論文もしくは課題研究報告の課題を経済社会の現代的動向に対する幅広い柔軟な視野の下で把握出来るように努め、専修免許に相応しい専門性を知識と応用的実践力の両面で涵養することを目標とする。
	後期	引き続き、修士論文もしくは課題研究報告を作成していく中で、歴史的・地理学的知見に基づいて経済社会の諸問題に対する分析力を強化し、研究遂行能力を具体的に発揮出来るようにするとともに、特に公開制の修士論文等中間報告会での発表・討論を通じて、柔軟な発想力とコミュニケーション能力を一層錬磨し、専修免許に相応しい専門的な研究・教育力を獲得することを目標とする。

<経済学専攻> (高等学校教諭専修(公民))

履修年次		到達目標と計画
年次	時期	
1年次	前期	研究指導(演習)及び授業科目を履修することにより、今後、専修免許取得に向けて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、研究遂行能力と教育実践力を身に付けることによって、公民分野の専修免許に相応しい専門性を獲得するという目標に対する真摯な自覚を深めることを目指す。
	後期	引き続き、研究指導及び授業科目を履修することにより、現代の経済社会の構造を理論的かつグローバルな視野で理解する力を養成し、問題発見・問題解決能力を強化することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、また、教えることへの主体的意識を高めて、柔軟な発想力とコミュニケーション能力を伸ばすことを目標とする。
2年次	前期	2年次を迎え、研究指導において修士論文もしくは課題研究報告を作成していく中で、経済学の専門的知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化して、研究遂行能力を高めるとともに、修士論文もしくは課題研究報告の課題を現実の経済社会の諸問題に対する幅広い柔軟な視野の下で把握出来るように努め、専修免許に相応しい専門性を知識と応用的実践力の両面で涵養することを目標とする。
	後期	引き続き、修士論文もしくは課題研究報告を作成していく中で、経済学の専門的知見に基づいて経済社会の諸問題に対する分析力を強化し、研究遂行能力を具体的に発揮出来るようにするとともに、特に公開制の修士論文等中間報告会での発表・討論を通じて、柔軟な発想力とコミュニケーション能力を一層錬磨し、専修免許に相応しい専門的な研究・教育力を獲得することを目標とする。